

食道癌の早期診断はヨード染色法の登場と共に大きな変化を遂げた。褐色に染まる正常粘膜の中に染まらず黄白色に残る部分は、粘膜の欠損か、異常な病態にある病巣である。粘膜病変を誰でも容易に、しかも再現性の高い診断を行うことができるようになった。この結果、食道癌の早期診断の目標は一挙に上皮内癌、粘膜癌になった。これに続いて食道粘膜癌の治療法にも革命的な変化が生じた。内視鏡的粘膜切除法の登場である。しかし、この分野の診断学は大きな進歩を遂げたにもかかわらず、まだまだ完成されていない。

課題の1つは、ヨード不染帯の鑑別法である。この点の研究はまだ成熟しておらず、臨床と病理の間の意思疎通を保ちつつ、知識を蓄積している時代である。また、一時点の観察だけでなく、不染帯の経過観察例の研究から、浅い食道癌の病態、時間の経過と共に生じる臨床的あるいは病理組織学的変化も判明しつつあると言ってよいだろう。

う。これが、食道癌全体の病型分類を合理的なものに脱皮させる大きな力になるに違いない。粘膜癌の診断の基礎は着々と強固なものになってきた。しかし、今回のすばらしい主題原稿と主題症例を見るにつけ、診断学としての未熟さ、症例の少ないことからのデータの蓄積の小ささを思い知らされるのである。この問題は時間と努力が解決する事柄であるので、悲観する必要はない。努力あるのみである。われわれはこれまでの道を振り返り、困難の中に正しい方向を見出し、進んできたことを誇りに思っていよう。

もう1つの課題は、食道粘膜癌のスクリーニング法の確立である。臨床の場に登場する食道癌の多くが、救命可能な粘膜癌で占められるようになるには、まだまだ努力が必要であろう。このシステムを確立する努力と共に、知識と技術の普及が重要であり、本誌の果たす役割の大きさを再認識する次第である。

胃と腸

9月号 (第29巻・第10号) 予告

発売予定 9月25日
定 価 2,060円(税込)

主題／胃底腺領域の分化型癌

序 説	胃底腺領域の分化型癌……………新潟大・1 病理	渡 辺 英 伸
主 題	胃底腺内に存在する分化型腺癌の病理学的特徴……………国立がんセンター・臨床検査部	下田 忠和・他
	胃底腺領域の分化型胃癌—その病理学的特徴……………新潟大・1 病理	遠藤 泰志・他
	胃底腺領域の分化型癌の特徴—病理学的特徴と組織発生……………大阪府立成人病センター・病理	石黒 信吾・他
	胃底腺粘膜領域の分化型癌の臨床診断……………癌研・内科	馬場 保昌・他
	胃底腺領域の分化型癌の臨床診断……………松山赤十字病院・消内	淵上 忠彦・他
主題症例	粘膜下腫瘍様の形態を呈した胃底腺領域の分化型癌の1例……………都がん検診センター・消	八巻 悟郎・他
	特異な内視鏡像を呈し術前深達度診断に苦慮した Borrmann 1 型胃癌の1例……………新潟大・3 内	古川 浩一・他
	Ménétrier 病の経過中に発生した胃底腺領域内の高分化型進行胃癌の1例……………金沢大がん研・外科	源 利成・他
	胃底腺領域の分化型癌の2例……………仙台市医療センター・消内	長南 明道・他
	胃体部後壁の IIb+IIc 型早期胃癌の1例……………藤田保衛大・内科	中野 浩・他
	胃底腺領域の早期高分化腺癌の1例……………福岡大筑紫病院・消	八尾 建史・他
	残胃吻合部に多発した早期胃癌の1例……………社会保険中央病院・消	浜田 勉・他

胃と腸 (第29巻 第9号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1994年8月25日発行(毎月25日発行)
1部定価 2,060円(本体2,000円)(配送料124円)
年ぎめ予約購読料 27,440円(本体26,641円)
(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1994, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 日本複写権センター委託出版物・特別扱い
- 本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

(担当)小松原・竹中・江口・長谷川